

# 創

# ごうし栄一

## 県議会だより No.15



しあわせの  
和を  
繋ぎたい

ごうし栄一 事務所

山口市赤妻町3丁目3番20号信和ビル2F  
TEL (083)921-5455 FAX(083)921-5411

# 迎春

平成二十四年正月

高岳山より昇る朝日(十種ヶ峰山頂より)

## 新年のごあいさつ



山口県議会議員

# 合志栄一

明けましておめでとうございます。

皆さまには、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、何かとお世話になりご支援を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。

特に四月の県議選挙では、おかげをもちまして前回に引き続き最高位得票で当選を果たさせていただきましたこと、重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災が発生し、我が国にとりまして敗戦以来の国難ともいえるべき試練の年となりました。そうした中で明るい話題は、女子サッカーワールドカップ大会で、なでしこジャパンが優勝したこと、本県では昨春秋、山口県で開催された国体で、悲願の総合優勝、天皇杯獲得を達成したことでした。

本年は、国全体としては東日本大震災からの日本復興を、確実に軌道に乗せていくことが求められ、本県としては国体後の本県経済が、失速しないよう配慮した県政運営を行いつつ、将来に向けて安全・安心の地域づくりと産業基盤の強化を図っていくことが課題であります。

ご案内のように、合志後援会のシンボルマークは「四つ葉のクローバー」です。

その含意は、四つの幸せで、地球の幸せ、日本の幸せ、山口の幸せ、そして私たち一人一人の幸せです。

今年も一年「山口からの日本復興」を念じつつ県政の諸課題に取り組み、皆さまとの絆を深めて、この「四つの幸せ」実現のために全力を尽くしてまいります。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

終わりに、本年の皆さまのご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

### 新年のごあいさつ

合志栄一後援会  
会長 河内義重



平成二十四年の新春にあたり、皆様にはご家族揃いで新しい年をお迎えになられたこと、謹んでお慶び申し上げます。  
昨年は、日本にとって忘れる事の出来ない、東日本大震災と原発事故の大惨事を今も思い浮かべる事です。

今なお、多くの方々が、復旧対策の遅く、その傷が癒されなままに、苦しんでおられる現実を知る度に、新たな腹立ちを禁じ得ません。  
昨年の県議選挙は大惨事の中で自粛ムードの選挙戦でしたが、合志栄一県議は、大差をもってトップ当選を果たされました。  
ご本人の力はもとより、皆様方々のご支援の賜と深く感謝しております。  
合志県議の日常の活動は、県民の生活向上の為に懸命に活躍されている姿には頭の下がる思いです。  
一方、合志後援会も、合志栄一

## 介護サービスの質の確保と向上

### 8月定例県議会報告

例年であれば、九月下旬に召集される県議会が、昨年は十月に国体が開催された関係で、八月二十四日に召集されました。  
「被災者生活再建支援基金」への拠出が主たる内容の総額十四億六千二百萬円の補正予算案を始めとする十四議案が提案され、九月九日の最終日すべて可決成立いたしました。  
私は、八月三十日の本会議で、「介護保険事業について」ということ

(一) 介護サービスの質の確保と向上について  
(二) 介護サービスの提供体制について  
以上、二点について一般質問いたしました。  
(一)は、介護保険法の目的である「介護されるものの尊厳の保持」にふさわしい水準の介護サービスが、特に老健施設などにおいて確保されるよう、制度面からの取り組みの強化を求めたものです。  
渡辺健康福祉部長から、「サービ

ス等の提供に問題ある施設に対しては、実地指導の間隔を短縮し、指導の徹底を図ってまいります。」旨の答弁がありました。  
(二)は、特別養護老人ホームの待機者解消への取り組みを求めたものです。  
二井知事から、「特別養護老人ホームにつきましては、運営主体である市町と十分に協議し、計画的に整備を進めていく。」旨の答弁がありました。  
介護保険事業は、民間に門戸開放されていて、制度面からサービスの質の確保と向上を担保していくことが重要と思われま

### 合志県議、土木建築委員会での活動



7月23日 嘉川原の皆さんと大城川河川改良の陳情を受けて現地視察  
7月31日 地域高規格山口宇部道路開通式  
9月12日 JR美祿線復旧現場視察  
10月1日 国体開閉式 会津若松の若者が駆けつけて披露してくれた「よさこい」の踊りと「再起」の大旗に感謝 於県陸上競技場  
10月13日 沖繩県企業局施設 西原浄水場(小水力発電)視察 水が送水管を自然流下するのを利用して発電  
10月23日 第11回全国障害者スポーツ大会 おいでませ山口大会 成人卓球優勝大平裕さんと 於県スポーツ文化センター  
10月25日 半年ぶりに再び被災地 南三陸町を訪ねました(左)佐藤南三陸町総務課長  
11月19日 阿東徳佐の農業法人片山を訪ね、法人経営の実情 TPPへの意見を聴きました  
12月12日 山口秋穂線整備に關連して県の道路整備事業計画策定の考えを問う 土木建築委員会

## TPPと本県農業、多様な農業の共存

### 11月定例県議会報告

十一月三十日に召集された十一月定例県議会は、二井県政の加速化プラン「総仕上げ」に向けての追加措置を主な内容とする総額八十七億四千五百萬の補正予算案、県の土地開発・道路・住宅供給の三公社を廃止する議案等、二十議案を可決して十二月十六日に閉会いたしました。  
私は、県政に携わる者の役割は、地方の現場の視点から国の政策を検証していくことであるとの観点から、十二月八日に「TPPと本県農業について」ということ

(七) 志ある農業について  
TPP交渉参加についての質問では、「多様な農業の共存」という日本が主張してきた理念と、食とくらしの安心・安全を守る立場を堅持すべきとの考えを述べた上で、知事の所見を伺いました。  
二井知事からは、「食の安心・安全の確保を前提に、政府の基本姿勢を明確にした上で、多様な農業

の共存などの観点も含めて、多様な角度から国民的な議論を行っていただくことを願っている。」旨の答弁がありました。  
志ある農業についての質問は、「健康な体をつくる食料の生産と流通を実現する。」との志に立ち、そういう農業として世界一になることを目指せば、日本農業は国民の支持を得て守られ、世界の中で成長発展していく、との思いを訴えたものです。  
松永農林水産部長から、「志を持った多様な人材の総力を結集して、足腰の強い本県農業を構築する。」旨の答弁がありました。  
農業問題には、これからも本県の地域づくりと産業振興に係る課題と認識して取り組んでまいります。

- (一) TPP交渉参加について
- (二) 農業の六次産業化について
- (三) 有機農業の推進について
- (四) 土地改良事業について
- (五) 自給率の向上について
- (六) フードバレーの形成について



8月議会

尚、本年夏の知事選挙に關して二井知事は、十二月五日の代表質問に答えて、基本的には出馬しない意向を示し、今年の二月までには最終的な結論を出す旨の考えを表明いたしました。

### 農業に従事してきた友人の突然の死に接して思うこと

山口県立大学 共通教育機構 教授 小川雅広

旧知、池田孝男さんがガンで急逝した。五十四才だった。彼は山口市仁保で約二十町の田んぼでコメ作りをしていた。「コメは売れなければどうしようもないんや」と彼は口癖のように言っていた。  
「売れるコメ」、それは低コストで、消費者に喜ばれるコメの事である。  
TPPに加入するかどうかで日本が揺れている。  
その参加に異議を唱えた。反対の大きな理由は食卓から国産のコメが消え外国産の安い

コメに置き換わるからだという日本人は豊かな食生活を実現するために海外の安い農産物を輸入してきた。  
おかしな事に輸入してこなかったコメを諦める農家は増え続けている。  
池田さんのところに田んぼを預かって欲しいと人々はやって来た。彼は、決して断らなかつた。池田さんは、大口の取引先を見つけて彼の作るコメの販売先を開拓していた。  
安いコメを供給するため体を酷使し、夜も働いた。彼は「過労死」だったのではないかと彼が預かった田んぼは、八十以上になつてた。お葬式で彼のお父さんが言った。  
「息子は地域の為に良くやってくれた。誇りに思っている。」と。世界はグローバル化している。

農業も遅かれ早かれグローバル化してゆく。  
貿易を円滑化するためにWTOに始まり、FTA、EPA、そしてTPPと矢継ぎ早に登場してきている。  
最後に待っているのは、FTA APである。  
これがグローバル化の意味である。  
一体誰が農業を支えるのだろうか。  
答えははっきりしている。  
農業に情熱を燃やせる池田孝男さんみたいな人である。  
私は、TPPに参加すべきかどうかすべきでないとか議論する前に、まじめに農業に向かつて日夜汗を流し、苦勞している人、そう池田さんのような人の営みを理解する事から始めなければならぬ。

### 第3回 よつば会ゴルフコンペ開催

～特別賞「徳佐米 30kg」は誰に?～

さる、11月13日(日)に山口国体の関係で遅らせてのゴルフコンペを、湯田カントリークラブにて、晴天の下で楽しみました。

今回は、3回開催を記して徳佐米(30kg)が特別賞であった。賞外者による勝抜きジャンケン優勝者に授与との事で、表彰会場は熱気ムンムンとなりました。ゴルフに弱く(?)●●●●に強い西島数富さんが担いで帰りました。

祝 優勝おめでとうございます。吉永 義夫(七十六歳)会長さん

順位	氏名	アウト	イン	ネット	HD	ネット
優勝	吉永義夫	39	41	3	8.4	71.6
2位	重政芳己	38	39	1	4.8	72.2
3位	宮原俊夫	43	41	4	10.8	73.2
4位	垣内紘一	43	46	8	15.6	73.4
5位	小島哲夫	45	43	6	13.2	74.8
10位	迫 昭夫	45	47	11	15.6	76.4
13位	山下義人	50	51	21	24.0	77.0
20位	寺田晴美	43	49	14	19.2	79.8
30位	平原美香	59	56	31	30.0	85.0
34位	合志栄一	66	67	34	36.0	97.0



合志名誉会長による始球式 “マダ打っていません”



徳佐米(30kg)を求めて “マダマダ決まりません”



有志による打上会 酔って “パチリ決まりました”

### 合志県議の活動記録

- 7月15日 第4回山口の森林を考える会
- 7月17日 法と経済のジャーナルに、合志県議の一般質問掲載
- 7月24日 平成23年度市政懇談会
- 7月31日 地域高規格山口宇部道路開通式
- 8月1日 第14回明日の障害福祉を考える会
- 8月4日 県道山口秋穂線改修促進期成同盟会
- 8月8日 コーネリアス飯田先生と県議員懇談会
- 9月8日 天皇皇后両陛下下行幸啓奉迎式典
- 9月30日 天皇皇后両陛下下行幸啓奉迎式典
- 10月1日 第66回国民体育大会山口国体開閉式
- 10月11日 第66回国民体育大会山口国体閉閉式
- 10月22日 皇太子殿下奉迎
- 10月22-23日 第11回全国障害者スポーツ大会開閉式
- 10月24日 東京・東北地区被災地研修視察(3日間)
- 10月26日 日本自治創造学会第3回研究大会(東北福祉大学)
- 11月7日 第15回明日の障害福祉を考える会
- 11月11日 山口県警機動隊視察
- 11月16日 第61会山口県総合社会福祉大会
- 11月17日 天皇皇后両陛下下行幸啓奉迎委員会反省会
- 11月23日 ターミナルパーク建設工事安全祈願祭
- 11月24日 山口県政経懇話会総会
- 11月25日 「おいませ山口国体」感謝の集い

### 「おとうさん、これ」と言ったら妻が渡してくれたのを見た若かりし日の私の顔写真の横に四つ葉のクローバーが貼ってあった。

結婚前のことらしいが、私が妻に四つ葉のクローバーをあげたのを、そういう形にして何かのファイルに挟んで大事にとっていたようにだ。それを、いつの間にか忘れていたのが去年の秋、片づけたのが発見したのだ。何十年振りかにか発見したのだ。私は、子どもの頃から、四つ葉のクローバーを探るのが好きだった。それが現在、私の後援会や

### 合志栄一コラム 四つ葉のクローバー

女性の会のシンボルマークになっている。始まりは、平成十年に参議院選挙に出た時、運動の盛り上げのために作った「うちわ」であった。特段打ち合わせをしたわけでもないのに、出来上がったうちわを見た、真ん中に四つ葉のクローバーがデザインされていた。不思議な感じもあるが、幸せを招く、と喜ばれる四つ葉のクローバーが、そういう自然の流れの中で、我が会のシンボルマークとして定着した。今年も一年、四つ葉のクローバーにふさわしい働きをすることを、年頭の誓いしたい。

# 合志県議の 2011年 (7月~12月)



7月5日 合志県議夫妻・三隅あいあいクラブ会長 津和野太鼓谷稲成神社お礼参拝



7月17日 合志県議の一般質問を朝日新聞「法と経済ジャーナル」が「現実的脱原発」と題してネット掲載



8月8日 寺田邸(宮野)にて花火観賞



8月12日 正二位勲一等男爵 榎取孝彦百回忌追善法要(於 桑山大楽寺)



8月28日 平成23年度「ふれあい月間」山口県中央行事 道路クリーンアップ作戦(一の坂川)



9月8日 コーネリアス・飯田先生を囲む県議の会 左後 合志県議 吉田県議 星出県議 左前 岡村県議 飯田先生 島田県議



9月10日 湯田温泉フェスティバルで活動されるボランティアの方々と



9月25日 久保紀夫さん(仁保)が子供達と共同で育てたちよる稲田見学会



9月27日 山口市倫理法人会での清掃活動(湯田温泉周辺)



10月7日 山口市銃剣道会長の合志県議 山口国体銃剣道大会に応援(和木町)



10月11日 国体で総合優勝・天皇杯獲得を果たした後、メイン会場の県陸上競技場前にて 中央 河村建夫代議士



11月18日 元横浜市長中田宏講演会(主催 養心の会)にて 共感するところ多くありました



11月20日 出雲大社山口分院(吉敷) 恵比寿祭で元気な餅まき



12月23日 寶尚会(空手・杖道・居合)稽古納会 合志寶尚会長納会挨拶

## 後援会活動メモ&予定

- 7月5日 合志県議夫妻・三隅あいあいクラブ会長 津和野太鼓谷稲成神社お礼参拝
- 7月7日 経済ジャーナルに合志県議の一般質問掲載される
- 7月28日 合志後援会吉敷支部懇談会
- 7月29日 合志県議を励ます会大橋町懇談会
- 8月8日 山口ふる里花火の会及び懇親会(宮野寺田宅)
- 8月28日 道路クリーンアップ作戦 あいあいクラブ参加
- 10月31日 第13回合志栄一勉強会
- 11月13日 第3回よつば会ゴルフコンペ
- 12月11日 第2回合志事務所懇話会
- 12月20日 第3回あいあいクラブ役員会
- 12月29日 合志栄一事務所御用納め
- 1月4日 合志栄一事務所御用始め
- 1月8日 県議会だより「創」第15号発行
- 1月29日 合志栄一後援会幹事新年会あいあいクラブバザー会

## 栄山会のご案内

合志栄一氏の政治活動を資金的に支える目的で资金管理団体「栄山会」があります。この組織は、ご支援いただいた資金を合志栄一後援会活動経費等に充当し、幅広い支援をしております。諸事ご多端の折から恐縮ですが、「栄山会」の趣旨にご理解を賜わり、ご入会いただける場合には下記方法にてお願い申し上げます。  
 【組織の名称】 栄山会 代表者 合志栄一  
 【会費受付】 一口 年額 2,000円(複数口数可)※納付者は個人に限ります  
 【会費振込先】  
 ・郵便振替番号 01380-7-41 加入者名 栄山会  
 ・山口銀行 山口支店(普) 6141625 栄山会代表 合志栄一

### 合志事務所の「味」

合志事務所の愛称「みき」さんが昨年10月2日より5日間、東日本大震災地の釜石へ山口県曹洞宗住職さんを中心とするボランティア活動に参加しました。  
 その内容は、中型バスを利用して現地に行き、仮設住宅を借りてお茶を接待しながら、じっくり話を聞くことで、少しでも元気になっていただく「傾聴ボランティア」です。この体験を活かして「味のある対応」が出来る合志事務所になりたいものです。(T.S)

・あいあいクラブのバザー会に提供いただける物があれば合志事務所までご連絡下さい。 あいあいクラブ

